

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定によって行う。

## 2. 招集について

- (1) 招集所は雨天練習場に設置する。
- (2) 招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種 目		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド 競技	走高跳・走幅跳(予選)・ 砲丸投	競技開始40分前	競技開始30分前
	走幅跳(決勝)	競技開始30分前	競技開始20分前
	円盤投	競技開始50分前	競技開始40分前
	棒高跳	競技開始90分前	競技開始80分前

### (3) 招集の手順

- ①競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し点呼を受ける。その際アスリートビブス・スパイク・規定外シューズ・衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受けた後、係員の誘導に従って入場する。
- ②招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものととして処理する。
- ③四種競技出場者の招集については、(3)の①に従って同様の点呼を受ける。
- ④競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに当該選手の監督がその旨を競技者係に申し出ること。四種競技出場者が途中で棄権する場合は、混成競技審判長に申し出ること。〔TR39.10〕
- ⑤多種目同時出場届は兵庫県中学校体育連盟陸上競技部ホームページからプリントアウトした用紙を使用し、競技者係に提出すること。

## 3. TR5競技用靴の対応について

本大会はTR5.2 (TR5:競技用靴)を適応する。

## 4. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、アスリートランキングで掲載されている番号で示す。
- (2) (着順ではなく)時間を元にしてTR20.3.2によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。〔TR21.2〕
- (3) 「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。〔TR16.5.3〕
- (4) スタートにおける不適切行為は、TR16.5を適用せず注意にとどめる。
- (5) 混成競技を除いて、一度の不正スタートでも責任を有する競技者はスターターにより失格させられる。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。〔TR16.8〕
- (6) リレー競技を行う場合、競技者は大きさが最大50mm×40mmで他の恒久的なマーキングと混同しないようなはっきりとした色の粘着テープをマーカーとして1カ所自らのレーン内に張ることが許される。〔TR24.4〕
- (7) リレー競技のリレー・チームの編成は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前(その時間までに競技者が招集所にいなければならない時刻)までに正式に申告しなければならない。〔TR24.11〕  
※ユニフォームに関しては同系色を着用すること。
- (8) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (9) 競技者に対する助力については、TR6.2を適用するので十分に気をつけること。
- (10) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。

- (11) 競技者は助走や踏切をしやすいするためにマーカー（主催者が準備したもの、または承認したもの）を、  
2個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。〔TR25.3.1〕
- (12) サークルから行う投てき競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。〔TR25.3.3〕
- (13) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限りフィールド競技について競技順を変更して出場することができる。〔TR4.3〕

## 5. アスリートビブスについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ビブス）をつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。アスリートビブス（ビブス）は通常はアスリートランキングに記載のものと同じナンバーでなければならない。〔TR5.7〕
- (2) アスリートビブス(腰)は招集時に受け取り、ランニングパンツ右側上部やや後方に貼り付けること。

## 6. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競 技		
走 高 跳	男子	1m55	1m60 ~ 1m70	5 cm ずつ	1m73 以上 3 cm ずつ
	女子	1m35	1m40 ~ 1m45	5 cm ずつ	1m48 以上 3 cm ずつ
棒 高 跳	男子	2m70	2m80 ~ 3m40	20 cm ずつ	3m50 以上 10 cm ずつ
	女子	1m80	1m80 ~ 2m40	20 cm ずつ	2m50 以上 10 cm ずつ
四種競技 (走高跳)	男子	1m55 1m40	1m45 ~ 1m55	5 cm ずつ	1m58 以上 3 cm ずつ
	女子	1m35 1m15	1m20 ~ 1m35	5 cm ずつ	1m38 以上 3 cm ずつ

- ①走高跳・棒高跳の決勝で、最後の一人になり優勝が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。
- ②ジャンプオフ（第1位決定戦）するためのバーの上げ下げは、走高跳は2 cm、棒高跳は5 cmきざみとする。〔TR26.9.4〕

## 7. フィールド競技の計測基準記録について

以下の種目においては計測基準記録を設けるが、天候・その他の都合で変更することもある。

	走 幅 跳	砲 丸 投	円 盤 投
男子	5 m 7 0	1 0 m 0 0	2 7 m 0 0
女子	4 m 5 0	1 0 m 0 0	2 4 m 0 0

※上記の記録を計測基準記録とし、記録に達しない場合は計測しないことがある。

## 8. 用器具について

競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。  
また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んで서는ならない。

## 9. 表彰について

- (1) 各種目8位（リレー種目は3位）に入賞した者・チームに表彰状を授与する。  
ただし、表彰式は行わない。各チームの顧問・代表者は本部記録係まで取りに来ること。
- (2) B 決勝は記録挑戦のために行い、表彰の対象とはならない。

## 10. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場のみとし、駐車場・芝生広場での練習は一切禁止する。
- (2) 選手以外の補助競技場の利用はできない。

- (3) ハードル練習について、1日目はメイン競技場で開門時刻～8:45までとする。  
2日目は補助競技場に設置する。  
※個人のハードルの持ち込みは禁止する。また、競技場周辺でのハードル練習は一切禁止する。
- (4) 投てき練習は、補助競技場内の投てき練習場で行い、メディシンボールの使用のみ認める。

#### 11. 競技場使用について

- (1) 本競技場での練習は、許可された時間帯以外は認めない。
- (2) 本部前の通行は一切禁止する。また、更衣室の利用は可とするが、「少人数・短時間」を心がけること。  
女子はメインスタンド下ゴール付近、男子は雨天練習場付近に設ける。
- (3) 待機場所はメインスタンド・メインスタンド裏(2F)・競技場外周・芝生スタンドおよび、競技場周辺の芝生を使用すること。ただし、地区割している場所に関しては、各チームゆずりあって使用する。  
※競技場外周(メイン側)に関しては、テント設置可
- (4) 選手・役員以外は競技場内に立ち入ることはできない。

#### 12. 競技による入退場について

競技役員の指示に従い、入退場すること。

#### 13. その他

- (1) 競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (2) 各自の出場種目の2時間前を目安に来場し、競技を終えた者は速やかに帰路につくこと。
- (3) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (4) 各自の判断で除菌グッズを持参し、適宜感染防止に努めること。
- (5) マスクの着用は個人の判断とする。
- (6) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各チームの責任者で対応すること。
- (7) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは各チームで持ち帰ること。
- (8) 選手は競技場内にて、携帯電話・スマートフォン等の電子機器の使用・撮影を行わないこと。
- (9) 本大会において標準記録を突破した選手は、第50回全日本中学校陸上競技選手権大会(愛媛県)に出場できるため、資格を得た選手の顧問・代表者は、競技会終了後の全国大会出場者打ち合わせ会に出席し手続きすること。
- (10) 競技場内での置引きや盗難、また駐車場での事故・盗難等のトラブルにつきましては一切責任を負いません。
- (11) 競技会当日、午前6:00に加古川市に気象警報(波浪以外)が発令された場合、その日の競技は中止する。  
なお、今後の予定については県中体連陸上競技部HPに掲載する。  
ただし、混成競技に関しては気象状況に鑑み、競技日程を変更する場合がある。

#### 14. 写真(ビデオ)撮影について

悪質な写真(ビデオ)の撮影を未然に防ぎ、子どもや選手をこれらの被害から守るために、大会中の撮影許可を下記の場合に限らせてもらいます。

- ① 大会運営本部より許可した報道関係者
- ② 大会出場チームの顧問、代表者
- ③ 大会出場選手の保護者

**※撮影されている方に、上記に該当するか確認させていただく場合がある。**